

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	平成27年10月28日(水) 午後1時30分から午後3時15分まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、 小澤厚委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、後藤有希委員、佐藤重喜委員、 清水三枝委員、下村晴一委員、関本吉人委員、塚越洋子委員、西村勇委員、 宮崎涼委員、宮下正明委員、山岸嘉幸委員、横井優司委員、吉池美智恵委員 【欠席委員1名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、丸山丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、 石井丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、芦田建設課長、 竹花丸子・武石上下水道課長、池内丸子学校給食センター所長、越丸子消防署長、 滝沢高齢者介護課課長補佐兼高齢者支援担当係長、 翠川産業観光課商工観光係長、 (説明者) 翠川政策企画課長、北島政策企画課課長補佐、櫻井財政課係長 説明者は説明終了後退席 (事務局) 柳沢地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	一般1人・記者2人
8	会議概要作成年月日	平成27年11月10日

協議事項等

1	開会(丸山センター次長)	9月募集の第3回わがまち魅力アップ応援事業、応募無しのため本日の審査無し。
2	会長あいさつ	
3	諮問	
	(1) 新市建設計画の変更について(政策企画課)	
		議長席前にて、谷仲丸子地域自治センター長から諮問書を代読後、齋藤丸子地域協議会長へ手渡す。
		・新市建設計画の計画期間の延長に係る諮問。答申期限は平成27年11月中。
		・平成24年6月、「東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律」が施行。合併特例債を起こす期間が10年間から16年間に延長された。それに伴い、合併前のH17年3月に策定の「新生上田市建設計画」(計画期間平成27年度末終了予定)についても、5年間計画期間を延長するというもの。
		・上田市の合併特例債は390億円まで発行可。平成26年度までに278億円発行済。残りは約122億円。5年間の計画期間の変更により、通常より有利な合併特例債を有効に活用したい。
		・変更箇所は、計画の期間。10年間から16年間に変更。人口の見通しについては、新しい数値への更新。財政計画は、平成26年度までは決算額に、平成27年度以降は当初計画を踏襲した財政計画。歳入・歳出は、現状に合わせたものを記載。
		・以降、協議
		(委員) 人口比で予算の執行を行っているという話でしたが、今後の人口減少もあるが。
		(行政) 事業の優先性とか緊急性から事業を選択し、合併特例債を充てられるものは充ててきたという状況です。たまたま、人口比でみると、そのような傾向が見られるというのが状況。
		(委員) 今後、人口が増える地域(上田中心部)と減る地域(丸子など)がある。合併特例債の意義を考えるなら、旧上田以外の人口減少対策は不十分だと感じる。
		(行政) 新市建設計画の5年延長というのはいわば形式的な部分。地域ごとの人口減少の違い、年齢構成の違い、人口構成の高齢者率なども地域差が出ることも考えられる。総合戦略等の中で、地域ごとの地域内分権推進の中で、地域にあった人口減少対策、市全体の予算の使い方、事業への集中投資等々、考えていかなければいけない。
		(委員) 合併特例債は、今後5年間の間に使い切るといふことか。市の財政を圧迫しないような有効

的な使い方を。

(行政) 26年度までに278億円余りを既に発行済み、残りは112億円程度。この中には、継続事業もあり、新規事業への充当はわずか。

(委員) 若者の定住策や人口減少の歯止め策など、上田市はちょっと遅れているように思う。合併特例債の利用を是非に。

(行政) 合併特例債は基盤整備のために使える起債です。若者の定住策など、合併特例債でもおかしくはない部分ではあるが、国の新型交付金を活用しながら対応を考えていきたい。上田市は県内他市に比べて若者のUターンが少ない。魅力的な仕事場の確保策などにより移住定住策も充実していきたい。

(委員) 合併当時の取り決めや協定、上田市一体化や状況の変化によりおろそかにされ、守られなくなってくることもある。このあたりの見直しを。市民サービスが無形化してきている。自治センターには一定の機能は維持して欲しい。

(行政) 職員の削減計画を進めてきた状況もある。自治センター機能はしっかり残し、地域内分権により地域の特色にあった施策を選択し進めるといった状況の早期構築を期待する。

(委員) 合併特例債390億円の3分の1には利息がつくのですか？

(行政) 合併特例債は一定の事業に対して95%まで借りられる。70%は国から後で戻ってくるという起債。3割強くらいの市の負担で事業が出来るという仕組み。

(会長) 概ねこの諮問については、問題点は特に無いと感じる。次回の協議会で皆さんの意見を伺い答申書を提出したいと考える。

(一同) 異議なし

4 協議事項

(1) 意見書「丸子地域循環バス『まりんこ号』の運行ルートの見直しについての提言」について

・意見書の提出について、担当の分科会会長より謝意。

・「まりんこ号」、乗って残すということで見直しをお願いしたい。

・(事務局説明) 意見書提出の目的：高齢者社会の進展による高齢者を主とした交通弱者の増加が予想される。交通弱者の日常生活の交通手段の確保と社会参加機会の提供、公共交通不便エリアの解消、地域の活性化などを目的としてルート変更を提言。

変更案のポイントは、運行起点と終点を自治センターからベルプラザエリアへ変更。大屋駅接続による広域移動を可能にする。三角地区や山岸地区などの交通不便状況の解消。信州音楽村、農産物直売所へのアクセスなどが主なポイント。

・(会長) 意見書を市に提出し、検討を依頼します。本日付けにて意見書の提出を。

(2) 市民活動団体交流会の実施について及び担当委員の選出について

・今年度も開催することに決定。日時は実行委員会で決定する。

・池田委員、工藤委員、清水委員、関本委員加え、斎藤会長、丸山副会長の6名が担当委員に選出され、市民活動団体交流会実行委員会を立ち上げた。

(3) 文化財補助金の増額要望の可否について

・教育事務所より、上田市文化財保護事業補助金交付要綱を説明。修理事業と管理事業は補助率10分の3以内で、300万円が限度。伝承事業は3万円以内の補助。

・以降、協議

(委員) 伝承事業の最高額はどれくらい出ているか。御柱に対してはどうか。

(行政) 3万円です。御柱も3万円で、毎年なので7年間積み立てるようです。

(委員) 武石の御柱など、300万円とかの補助と聞きましたが。別枠なのか。

(行政) 本年度の予算の中で、別枠で協議しています。

(委員) 補助率10分の3で、1千万円の修理費だと300万円で、これが限度。この上限を挙げるためにはどのような形だと上層部に伝わるか。

(行政) 要綱を変更する際、他市の状況を勘案し、上田市の文化財の状況、財政との協議等が必要となる。増額の要望ということなら、検討はさせていただく。

(委員) 地域協議会の要望として出せば、検討はされるということですか。

(行政) 要望の形式については文化振興課と協議させていただき、またご報告します。

(委員) 是非、補助額アップという方向で進めて欲しい。前回の議題の安良居神社の関係は、基本的には寄付にて対応ということになる。元々の文化財保護という理念からすると、もう少し補助額を

アップしておく必要がある。

- (委員)文化財はこれからも出てくる課題。上限 300 万円というのは少なすぎる。後世に遺していくため、人口減少の状況も踏まえ、残したいものは残すという観点で是非検討いただきたい。
- (会長)文化財保護法、文化財保護条例をみても、国や県の補助交付を受けた事業が対象になっている。要望をするに、要望の文面作成が難しいだろう。次回の協議会で意見書案を検討します。
- (行政)国指定、県指定、そして市の指定の文化財がある。全体の取り扱いを、他市状況を参照し対応していく。意見書が文化振興課に提出された際には、文化財保護審議会等にも諮られるし、要綱見直しは市の内部での検討が図られる。そういう手順となるだろう。

5 報告事項

(1) 丸子まちづくり会議準備会からの報告について

・今後、資料の日程表のとおり、意見交換会を実施していく。小中学校のPTA、保育園・幼稚園の保護者会などの新しい団体との意見交換も含め、大勢の皆様を対象とした意見交換会により、様々な御意見、御提案を頂きたい。

・次回の協議会終了後、まるこまちづくり会議準備会と丸子地域協議会との意見交換会を開催。

・「交付金」の現時点での考え方；

来年度、試行的にモデル地区（丸子地域、神科豊殿地域、川西地域）に限定して交付。わがまち魅力アップ応援事業の補助金の各地域配当額と同程度の額の予定。使い道は住民自治組織の判断で決定。事務的経費のほか地域まちづくり計画の策定や各自治会が連携した自主防災、防犯活動、地域の活性化をはかるイベント開催、地域の環境整備などへの活用。現在のコミュニティ活動等交付金や広報配布等の委託料が減ることがないように配慮したい。

(2) 分科会及び研究会での検討状況について

(ア) 丸子地域の子育て支援に関する分科会

・9月24日の協議会后に分科会を開催。

・「にじいろひろば」のように一つにまとめた子育て支援センターについて、意見書提出の検討。

・子育て支援分科会として、丸子地域消費生活展に活動内容の展示を行うことに決定。

(イ) 公共交通に関する分科会

・9月24日の協議会前に分科会を開催。

・「まりんこ号」意見書提出について、分科会長からの謝意。今後まりんこ号を乗って残せるようにやっていきたい。

・西丸子線のベルプラザエリア乗り入れについては、現時点ではバス会社の運行時間の余裕が無く困難。

(ウ) 新しい観光分科会

・前回の分科会において、クアハウスと鹿月荘についてのアンケート調査を 31 団体を対象に依頼することを決定。地域住民の意見を確認する。

・本日の分科会で結果内容を検討する。

6 その他

(1) 次回以降の会議日程について

第8回協議会 11月25日(水) 午後1時30分 丸子地域自治センター4階講堂
終了後、まるこまちづくり会議準備会との意見交換会。

第9回協議会 12月15日(火) 午後1時30分 丸子地域自治センター4階講堂

(2) その他

・平成27年度依水館特別講座「カネタ煙突を活かそう」の案内。10月30日(金)午後6時から9時。依水館にて。(丸子地域教育事務所より)

・丸子文化会館セレスホールのコンサートの案内。上田市合併10周年記念事業で、来年、1月5日にニューイヤーコンサートとして開催するもの。松本隆氏の現代語訳のシューベルト歌曲「冬の旅」。(丸子地域教育事務所より)

・「子どもの明日を考える集い」開催の案内。11月10日(火)午後6時30分、丸子文化会館小ホールにて。(丸子地域教育事務所より)

・丸子地域消費生活展実行委員会より第 29 回上田市丸子地域消費生活展のお知らせ。11 月 28 日(土)の 9:45 ~ 15:00。丸子文化会館小ホールにて開催。丸子地域協議会子育て支援分科会も展示を出展。(委員報告)

・男女の出会いの場を提供する第 5 回「鹿コン」の開催について。12 月 12 日(土) 鹿教湯温泉交流センターにおいて開催。鹿教湯温泉の旅館や商店の活性化の願いもこめて開催する。(委員報告)

・鹿教湯温泉高速バスによるアクセス、路線バスや登録宿の宿泊料割引案内チラシについて。(委員報告)

7 閉会

* 本日の分科会・研究会の開催

子育て支援分科会 第 4 会議室

公共交通に関する分科会 第 3 会議室

新しい観光分科会 第 2 会議室